

近代皇室  
御用裂の世界

リニューアルオープン 5周年記念展

# 皇室の御用達

Reborn

2025年  
9月6日[土]—12月22日[月]

第Ⅰ部：9月6日[土]—10月27日[月] 第Ⅱ部：11月1日[土]—12月22日[月]

開館時間＝10:00-17:00(入館は16:30まで) 休館日＝火・水曜日 [入館無料]

※10月28日[火]～10月31日[金]は展示替のため休館 ※会期は変更となる場合がございます

会場＝高島屋史料館 企画展示室

高島屋史料館

Takashimaya Archives



Takashimaya

1831(天保2)年正月、京都で創業した高島屋。明治という新しい時代を迎えた時、呉服店の南側に段通店(敷物用織物の店)を開店し、装飾業を始めました。日本各地に洋風建築が増えていくにつれ、窓掛や壁張、壁掛、椅子張など、室内装飾織物の需要がたかまったので、高島屋の装飾業は次第に軌道に乗り始めていきました。

1887(明治20)年には、宮城(皇居)再建にあたり、窓掛ほか装飾織物御用を拝命。これを無事に納めると、諸官省からの御用が高島屋へ相次ぎ、東京に支店を設置する契機となりました。さらに1897(同30)年、「宮内省御用達」の認可を受けると、御用はますます拡大していきました。

そして1915(大正4)年11月、近代初の即位礼となった大正大礼に際して、調度品御用を拝命。高島屋が納めた萬歳幡<sup>ばんざいばん</sup>をはじめとする色とりどりの旗は、即位礼を華やかに彩りました。この経験は1928(昭和3)年11月、昭和太礼における調度品御用拝命時にも活かされることになりました。

本展では、高島屋史料館が所蔵する近代皇室の「御用裂」<sup>ごようぎれ</sup>見本の数々を展覧します。加えて、高島屋の御用図案を手がけた図案家のひとり、中山宜一<sup>ぎいち</sup>の図案集『國華』(港区立郷土歴史館蔵)を特別展示し、近代皇室の御用をつとめた高島屋の知られざる歴史をご紹介します。

※本展は会期をI・II部に分け、展示作品を一部入れ替えて構成します。



1.



2.



3.



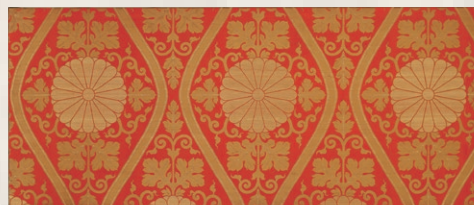
4.



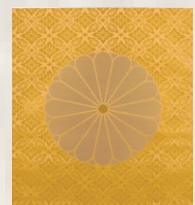
5.



6.



7.



8.



9.

1. 宮殿装飾織物貼交屏風: I部 2. 大正大礼装束織物貼交屏風: II部 3. 萬歳幡下絵「厳金・魚」(部分): I部 4. 明治宮殿柱隠し試織: I部 5. 大錦幡見本裂(部分): II部 6. 原在泉「大礼の儀図」(部分): I部 7. 帝国議会議事堂の玉座緞帳試織: II部 8. 菊花章中錦幡見本裂: II部 以上、高島屋史料館蔵 9. 中山宜一「國華」港区立郷土歴史館蔵: I・II部

## イベントのご案内

※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止する場合がございます。  
①②いずれも参加無料、要申込み、抽選制です。当館ホームページよりお申込みください。

### ① 講演会「大正・昭和のご即位を彩った染織の美」

要申込み・抽選制

■講師=田中 潤氏(霞会館記念 学習院ミュージアム 研究員)  
■10月5日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

### ② 講演会「近代皇室の御用をつとめた高島屋」

要申込み・抽選制

■講師=高井多佳子(高島屋史料館 研究員)  
■11月9日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

### 学芸員による企画展ギャラリートーク

会期中の第1・第3土曜日14:00~(約30分) ※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。

特別映像 皇居三の丸尚蔵館所蔵 高島屋製「美術染織品」 ※多目的ルームにおいて上映します

### 【アクセス】

南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、  
近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分  
近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分  
※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

### 【住 所】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25  
高島屋東別館3階  
TEL. 06-6632-9102  
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>

